



for KAWASAKI ZRX1200 DAEG

全年式対応

**ノーマルフロントフォークにダンピングアジャスターを後付け！
高性能カートリッジフォークへ DAEG をアップグレード！**



TASC for KAWASAKI ZRX1200DAEG ¥95,000 (税抜) TASCDAEG

TASC は部品単品での販売はしていません。TASC の組み込みには高度な技術を要するため、弊社にて組み込み作業を行います。表示価格には組み込み工賃が含まれております。

TASC 組み込み時に消耗部品の交換料金 ¥7,800 (税抜上代)

交換部品：スライドメタル、ガイドメタル、ダストシール、オイルシール (ダストシール、オイルシールは SKF)

ノーマルフォークスペック

- 伸 / 圧側
ダンピング
アジャスター
装備
- カート
リッジ式
- 純正
スプリング
プリロード
アジャスター

TASC フォークスペック

- 伸側
ダンピング
アジャスター
- 圧側
ダンピング
アジャスター
- カート
リッジ式
高性能
積層シム
- 純正
スプリング
プリロード
アジャスター
- 専用
フォーク
スプリング

TASC 内部イメージ (写真は MT-09)

圧倒的なストローク感と踏ん張り感の両立でスポーツライドを楽しめる仕様に

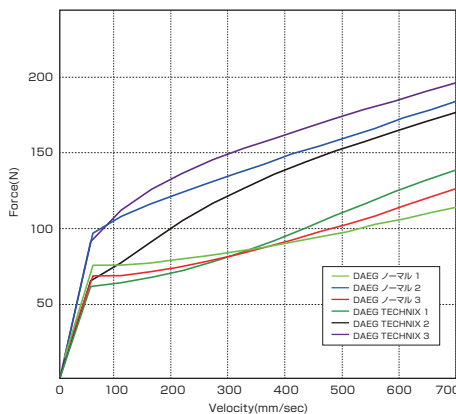
純正フォークにリバルビングに対応できない簡易カートリッジ式 (フリーバルブ方式) を採用する ZRX1200DAEG。初期の動きは良くストローク量のバランスも GOOD。しかし、ワインディングなどのスピード域が上がったコーナーでは一気に奥まで入ってしまいます。また、ブレーキをリリースした途端フォークが急激に戻り荷重が抜けてしまいます。その症状は減衰力調整をしても解消ができず、前後のピッチング量が多くオーバーアクションになりがちです。

Technix では TASC キットを ZRX1200DAEG 用に新たに開発。スプリングレートを最適化し、積層シム型バルブシステムを用いストロークスピードに応じたダンピングを発生させます。ワイドな調整幅を持たすことで、ストリートからスポーツ走行まで幅広いシチュエーションで最適な特性を得ることが可能に。

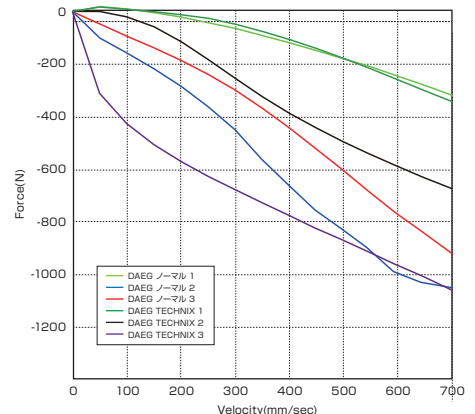


ダイノテストと実走行テストで、様々なライディングフィールドのセッティングデータをチャート化し仕様を決定しています。

DAEG TASC コンプレッションの比較例



DAEG TASC リバウンドの比較例



ストリートセット

低速、低荷重でも乗り心地を損なわないように減衰力は弱め、小さなギャップ通過時の突き上げも確実に吸収しライダーへの不快感を大幅に軽減。伸び側減衰を若干効かせフロントタイヤが路面に留まるようセットアップ。

ワインディングセット

積極的にバイクを旋回させるため、ブレーキを当てながらコーナーにアプローチすることを前提にストリートよりも圧側減衰を掛ける。切り返して軽快に車体を操る為に、あえてリバウンドはストリートセットと同じ。ストローク中間域でも減衰を掛けた安定した車体姿勢でライディングができるようセットアップ。

サーキットセット

フルバンク状態でもフロントタイヤを路面に留まらせる為にリバウンドも強めにセット。ロースピード域での減衰力を効かせる設定で、フロントタイヤにしっかりと荷重を掛け積極的にライダーがマシンを曲げていける仕様に、サーキット走行で「攻める」走りをするライダー向けのセットアップ。

弊社テストでは、リアショックを「NITRON R3 シリーズ」を装着してテストしております。車体のバランスを取るために同ショック又は同等の社外品への交換を推奨致します。同ショックを装着の場合には、各ステージごとのリアショックセットアップデータの提供も可能です。